

第7次 半田市総合計画(改訂版)

2021▶2030 概要版



人がまちを育み まちが人を育む
チャレンジあふれる都市・はんだ





総合計画は、まちづくりの羅針盤!

半田市民が将来も安心して、幸せに暮らし続けることができるまちにするために、令和3年度から10年間の半田市のまちづくりの大きな方向性をまとめたもの、それが総合計画です。

半田市のまちづくりを進めていくうえで、もっとも重要な計画です。

オール半田でまちづくりを進めよう!

まちづくりを進めるためには、半田市に暮らす人々を始め、仕事や勉強、観光など、半田市に関わる全ての人々が力を合わせて取り組むことが大切です。

皆さんもこの冊子を読んで、半田市をどのようなまちにしたいか想像してみてください。

そして、自分にできるまちづくりと一緒に考え、オール半田でチャレンジしましょう!

半田市は、これからもみんなでまちづくりを進めていくダシ!

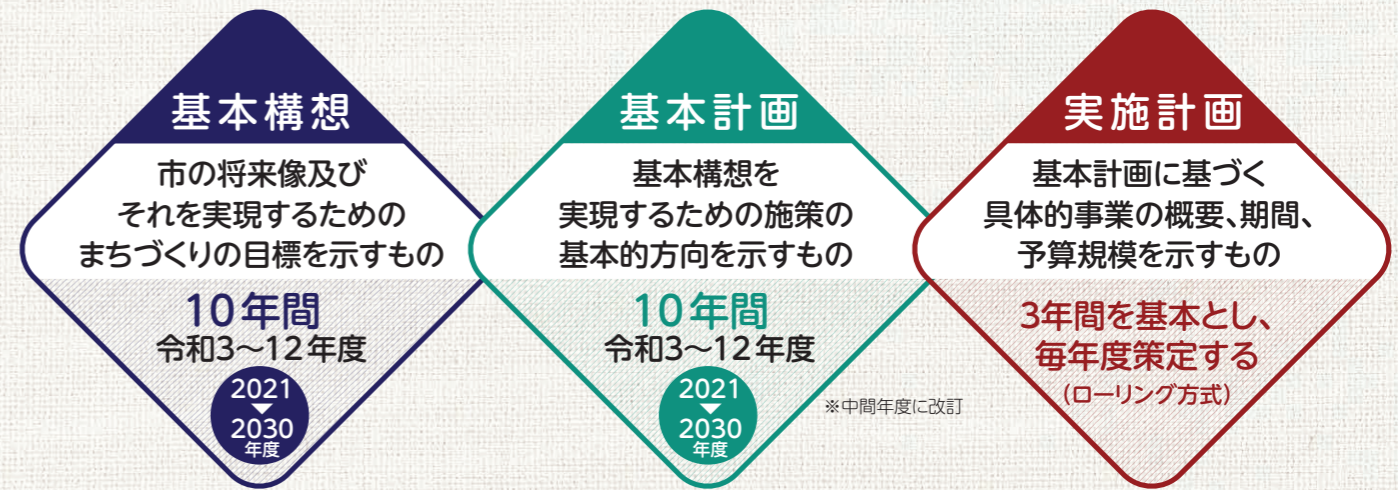


半田市観光マスコットキャラクター
だし丸くん

そうだね!
それじゃあ一緒に、
半田市が目指すまちづくり
を見ていこう!



新美南吉童話イメージキャラクター
ごん吉くん



改訂の概要

◇計画改訂の目的・背景

すべての市民が健康で、安全・快適に暮らせるためのまちづくりを進めていくためには、市が将来目指すべき都市像を明らかにし、長期展望に立った総合的・計画的なまちづくりを行うことが重要です。第7次総合計画(以下、本計画という。)は令和2年度に策定し、本計画に基づいて5年間のまちづくりを推進してきました。

この間、本市を取り巻く環境は変化しており、また、半田病院の移転に伴う知多半島総合医療センターの建設・開院、JR半田駅周辺の整備、中心市街地の活性化など様々な取組が進められています。このような社会経済情勢の変化や計画の進捗状況等を踏まえ、計画の見直しを行い、令和8年度からの5年間で推進する施策を中心に後期基本計画として策定しました。

改訂にあたって重視する視点

本計画は、①社会経済情勢の変化を的確に捉えた計画 ②本市の特性を活かした計画 ③分かりやすい計画の視点で策定したことを踏まえ、本計画の改訂にあたっては、次のことを重視しました。



「選ばれるまち」を目指して

- 人口減少問題に対応するため、本市独自のテーマとして「はたらく親を応援するまち」を掲げ、現在の働く世代と次の働く世代である子どもたちを未来の半田市を担う大切な存在と捉え、子育て支援を始めとする施策の充実にチャレンジします。
- 上記の視点を重視した施策・事業の展開を図り、結果として子育て世代や未来の半田市を担う世代に選ばれる魅力的なまちとなり、すべての市民サービスが持続可能で、住みたい、住み続けたいと思われるまちの実現につなげます。

《基本構想》 将来人口を最新に修正。

《基本計画》 基本施策、構成は維持し、社会情勢の変化や実績・評価を踏まえて見直し。

これから目指す半田市の姿(将来の都市像)

将来の都市像

人がまちを育み まちが人を育む

チャレンジあふれる都市・はんだ

半田らしい歴史・文化 先人たちのチャレンジ精神 イノベーション(変革) 学びと成長 市民協働

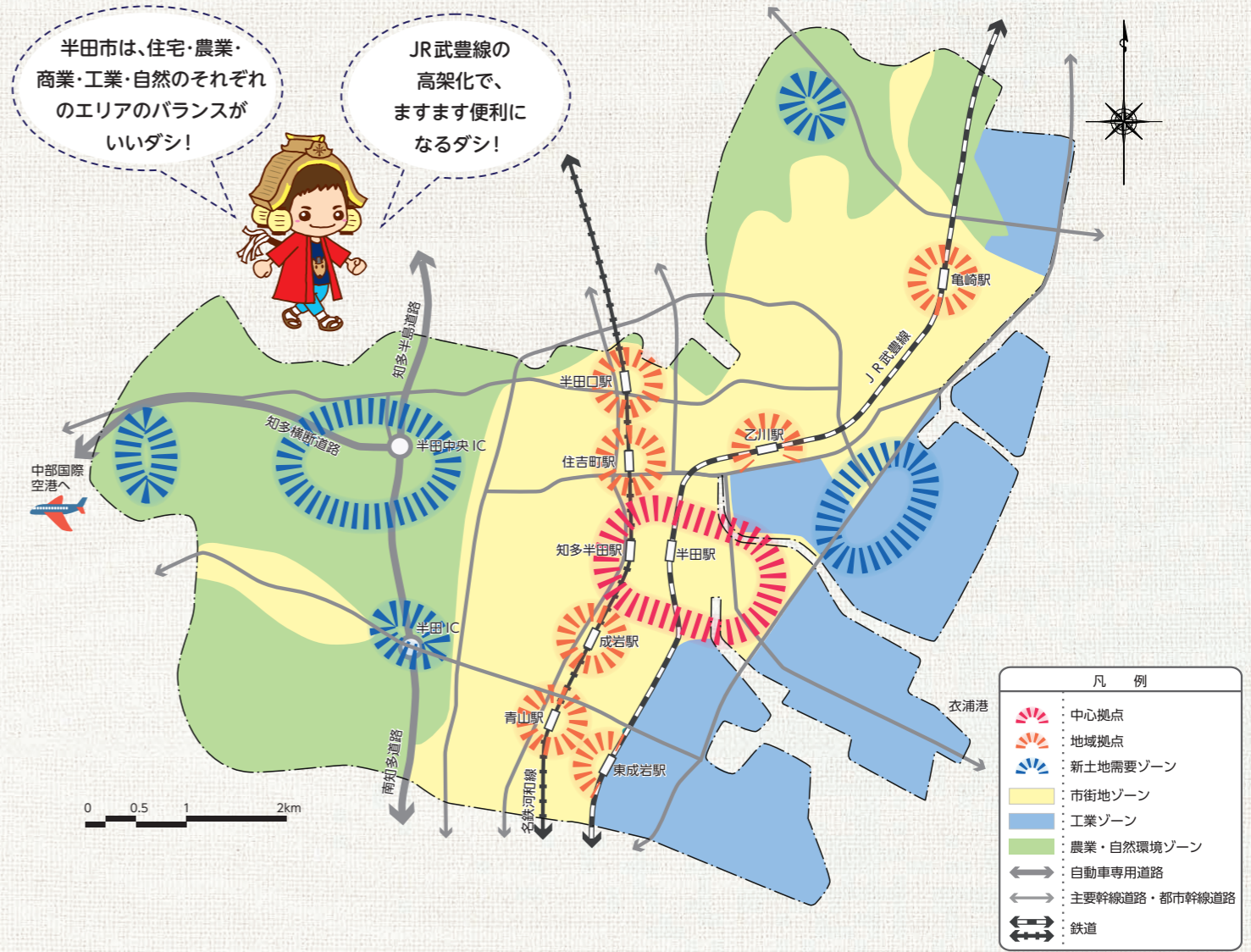
本市は「山車・蔵・南吉・赤レンガ」などの全国に誇る歴史・文化を受け継ぐ、魅力あるまちであり、そこには学ぶべき先人たちの情熱と挑戦する心(=チャレンジ精神)があります。

今日では、利便性の高い交通アクセス、多彩で活力ある地域産業、充実した学びと育ちの環境を特徴とする知多半島の中心的な都市に発展しています。

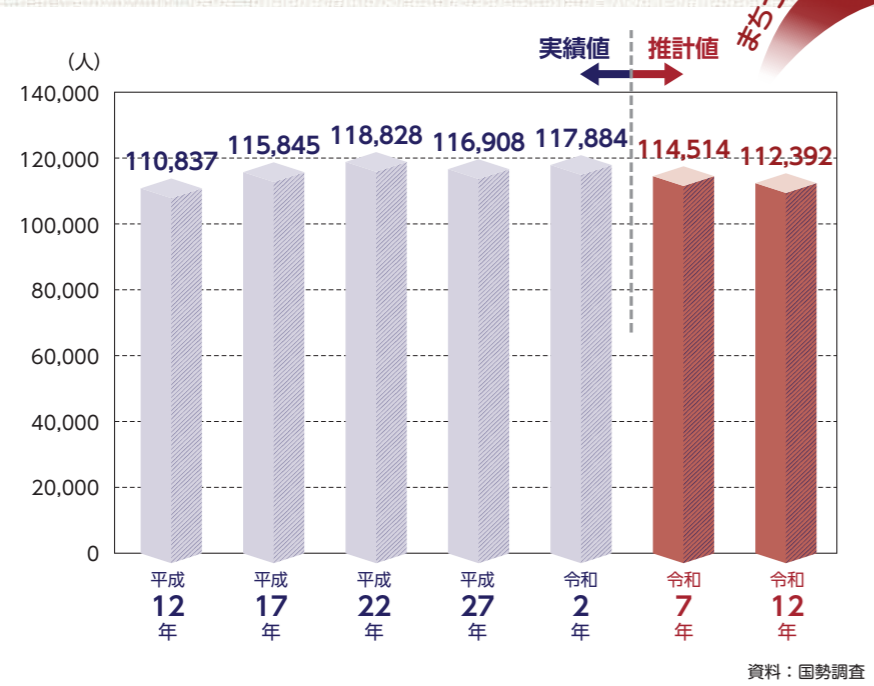
今後、人口減少を始めとする社会環境の大きな変化のなかで、快適で持続可能なまちを実現していくためには、これまでの人口増加に支えられたまちづくりを見直すとともに、チャレンジ精神をもってイノベーション(変革)を起こしていく、担い手自身の学びや成長が必要です。

このため、本市の特性を活かしながら、第6次総合計画における「協働のまちづくり」で培った市民力を結集し、市民・事業者・行政が共に学び成長とチャレンジを続けることで、人がまちを育み、まちが人を育む好循環が生まれ、さらにまちの魅力が向上していく都市を目指します。

まちのかたち(土地利用構想)



半田市のいま



令和12年(2030年)の目標人口

113,000人

まちづくりの取組

半田の魅力や住みやすさをPRして、人口減少のスピードをできるだけ緩やかにするよ。



拠点・ゾーン別の土地利用の方向

中心拠点 名鉄知多半田駅・JR半田駅周辺から市役所周辺までのエリア	公的サービス・商業・文化など基幹的な都市機能施設を集積を図るとともに、市内外から訪れる人々が回遊しなくなる魅力的で賑わいのある空間を創出します。特に、鉄道駅周辺においては、高度な土地利用の誘導を図ります。
地域拠点 鉄道駅周辺	中心拠点と公共交通でつながる結節点として、駅の利便性を高める施設や各地域の特性に応じた生活に必要な機能の確保により魅力の向上を図ります。
新土地需要ゾーン 北部・西部の丘陵地など	環境との調和を図りながら、地域経済の活性化につながる企業等の立地誘導を図ります。
市街地ゾーン 市街化区域(住居・商業系地域)	商業・行政サービス等の生活利便性を維持・確保するとともに、都市基盤の整備・更新により便利で快適な住環境の向上を図ります。
工業ゾーン 臨海部の工業地域一帯	衣浦港の機能拡充等により、工場や事業所の操業環境の確保を図ります。
農業・自然環境ゾーン 市街化調整区域一帯	無秩序な開発を抑制し、優良農地の確保や緑豊かな環境の保全に努めます。

本市の普遍的な都市像

健康で明るく豊かなまち

人がまちを育み まちが人を育む
チャレンジあふれる都市・はんだ

第1章

学びあい育ちあう
自分らしさと夢を育むまち

- (2) 学びの応援
- (1) 育ちの支援

第2章

地球に配慮しながら成長する
都市の活力を育むまち

- (2) 環境
- (1) 観光・産業

第3章

つながり助けあう
健康と笑顔を育むまち

- (3) 医療体制
- (2) 健康
- (1) 地域福祉

第4章

安心・安全で快適な生活
質の高い暮らしを育むまち

- (3) 都市基盤
- (2) 都市空間
- (1) 安心・安全な社会

第5章

互いを尊重し知恵と力を活かしあう
豊かさを育むまち

- (1) 協働
- (2) 共生社会
- (3) 行財政

第1章

学びあい育ちあう
自分らしさと夢を育むまち

1 育ちの支援



施策が目指す半田市の将来の姿

- 子どもたちが夢や目標を持ち、豊かな人間性・社会性、健やかな心と体が育まれています。
- 地域に見守られながら、子どもたちが安心・安全に楽しく、充実した生活を送っています。



1. 子どもと子育て家庭

- ① 切れ目のない体制の充実
- ② 健全育成のための環境づくり
- ③ 子どもの個に応じた支援の充実
- ④ 地域で子育てを支える仕組みづくり

2. 幼児教育・保育

- ① 幼児教育・保育の質の向上
- ② 幼児教育・保育の環境づくり

3. 義務教育

- ① 教育の質の向上
- ② 個に応じた教育の充実
- ③ 学校環境の向上

ピックアップ
チャレンジ
2030

- ・小学校の利用状況や更新計画にあわせて、学校内に子どもの居場所を整備します。
- ・放課後の児童の居場所づくりとともに、小学校区が地域コミュニティの核となるような「一小学校区一地域共創センター」を基本とする施設整備を図り、地域に適した施設の集約・複合化を進めます。

2 学びの応援



施策が目指す半田市の将来の姿

- 生涯にわたり学び続けられる環境が整い、市民が互いに高めあう仕組みができています。
- 市民が多様な文化芸術に触れ親しみ、その価値を見出すことができます。
- 半田の誇る貴重な財産である山車を始めとする文化財や、新美南吉文学を始めとする文化が次世代に継承されています。



1. 学びの推進

- ① 市民の学び場づくり
- ② 学びを育む読書支援

2. 文化の振興と継承

- ① 文化に触れ親しむ環境づくり
- ② 文化財の保存と継承
- ③ 地域文化への愛着と誇りの醸成

ピックアップ
チャレンジ
2030

- ・中学生の放課後活動として、地域と連携し、多様な活動に親しむ機会を拡充します。
- ・文化財の保存団体との協働により、祭礼・山車文化をより身近に感じられるよう、体験型の展示や講座等を行います。

基本計画の内容を
5つのまちづくりで
紹介していくダシ!



CHALLENGE
チャレンジ 2030

ニイゼロサンゼロ

第7次総合計画には、2030年に向けトライ&エラーを重ねながら取り組むものとして、各分野に「チャレンジ2030」を掲げています。先進性を備えた取組で実現可能性は必ずしも高くはないですが、チャレンジが成功することで、本市の目指す将来の姿に大きく近づくことができると考えるものです。概要版では、その一部をご紹介します。

第2章 地球に配慮しながら成長する都市の活力を育むまち

1 観光・産業



施策が目指す半田市の将来の姿

- 歴史・文化に根差した観光振興により、本市の魅力が広く認知され、交流人口が拡大し、地域経済が活性化するとともに、市民におけるまちへの愛着と誇りが醸成されています。
- 地域に活力を生む新たな企業立地、ビジネスの創出が進み、さらに観光・農業・商業・工業の連携などにより、本市の個性が光るブランドが確立するとともに、産業の担い手となる優秀な人材が活躍し、「産業力」が高まっています。

1. 観光

- 1 観光資源の魅力向上
- 2 観光プロモーションの強化等
- 3 広域連携による観光振興

2. 企業立地

- 1 企業用地の整備
- 2 企業立地の促進

3. 農業

- 1 農業経営の支援
- 2 農業基盤の維持向上
- 3 農業に親しむ機会の充実

4. 商工業

- 1 経営・創業環境の向上
- 2 魅力ある商業機能の形成
- 3 就業・就労環境の整備



- ・「醸造・発酵のまち」としての認知度向上のため、事業者と連携し、醸造・発酵が感じられる商品開発に取り組みます。
- ・先端素材や航空宇宙関連など次世代につながる産業や自動車関連など愛知県内に集積する産業の誘致を推進します。

2 環境



施策が目指す半田市の将来の姿

- 市民、事業者、行政などが一体となって、2050年までにCO₂排出量実質“ゼロ”にする脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現に向けて取り組んでいます。
- 市民と事業者によるごみの減量化と資源化の取組が行われ、循環型社会の形成が進んでいます。
- 自然や生き物に対する市民の理解が深まり、環境保全活動や環境美化が進んでいます。

1. 脱炭素社会

- 1 家庭における脱炭素化の促進
- 2 事業所における脱炭素化の促進
- 3 環境学習などを通じた環境意識の向上

2. 循環型社会

- 1 家庭系ごみの減量化・資源化の促進
- 2 事業系ごみの減量化・資源化の促進
- 3 一般廃棄物適正処理の推進

3. 生活環境

- 1 良好な暮らしの環境づくり
- 2 衛生的な地域環境の形成と環境美化の推進



- ・ゼロカーボンシティはんだビジョンに基づき、市民、事業者、行政が一体となって再生可能エネルギーの導入や省エネの徹底などに取り組み、2050年CO₂排出量実質ゼロを目指します。
- ・リサイクルセンターや公共資源回収ステーションに加え、自治体の資源回収拠点の常設化などにより資源排出機会の拡大を図るとともに、資源化対象品目を拡大し、さらなる資源化を推進します。

第3章 つながり助けあう健康と笑顔を育むまち

1 地域福祉



施策が目指す半田市の将来の姿

- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる支えあいのまちづくりが進んでいます。
- 高齢者の社会参加が進み、安心して生活するための支援体制が充実しています。
- 障がい者に対する理解促進・支援充実が進み、地域で活躍する障がい者が増えています。

1. 地域福祉

- 1 支えあいの地域づくりの促進
- 2 相談支援の充実
- 3 福祉人材の育成

2. 高齢者福祉

- 1 地域包括ケアシステムの推進
- 2 介護予防と認知症対策の推進

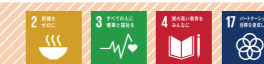
3. 障がい者福祉

- 1 障がい福祉サービスの充実
- 2 誰もが支ええられる地域づくりの推進



- ・社会情勢の変化等により生じる新たな福祉課題について、関係機関と連携・協力して解決の仕組みづくりを協議検討する体制を拡充します。
- ・市内福祉事業所及び大学生との協働により、学生に対する事業所紹介・就職マッチング等に取り組みます。

2 健康



施策が目指す半田市の将来の姿

- 一人ひとりが積極的に健康づくりに取り組み、誰もがその人らしく、いきいきと過ごしています。
- 一人ひとりの健康づくりの取組を家庭、学校、職場、地域など、社会全体で支援する環境が整っています。
- スポーツを楽しむことを通じて、心身ともに健康でいられる市民が増えています。

1. 健康づくり

- 1 健康寿命延伸に向けた取組の促進
- 2 健康診断を活用した健康づくりの促進
- 3 感染症予防の推進
- 4 こころの健康づくりの推進

2. スポーツ

- 1 スポーツに触れる機会の拡充
- 2 「みる」「する」「ささえる」スポーツの環境整備
- 3 スポーツ施設の魅力向上



- ・高齢者の心身の課題に対応するため、運動、口腔、栄養、社会参加等の観点から、高齢者の保健事業及び介護予防を一体的に実施します。
- ・スポーツ協会、スポーツクラブ、スポーツ推進委員との連携を図り、連携する団体主催による様々なスポーツ体験会等の開催につなげます。

3 医療体制



施策が目指す半田市の将来の姿

- 健康や病気について気軽に相談でき、病気の早期発見・重症化予防のための充実した支援を受けることができます。
- 病気の高度急性期から回復期、療養期まで切れ目ない医療を身近な地域で安心して受けることができます。

1. 地域医療体制

- 1 連携強化による地域医療の充実

2. 知多半島総合医療機構

- 1 持続可能な医療体制の構築



- ・知多半島医療圏における医療機関等（公的及び民間病院、診療所、介護事業者等）の相互の機能分化や、人材交流、業務の連携等を推進し、地域における質の高い効率的な医療を安定的に提供します。

第4章 安心・安全で快適な生活 質の高い暮らしを育むまち



1 安心・安全な社会



施策が目指す半田市の将来の姿

- 大規模災害時の被害を最小限に抑え、災害に強いまちが形成されています。また、市民や地域の防災意識が高まり、逃げ遅れない避難体制が確立されています。
- 交通安全意識の高まりや安全な歩行空間の整備により、交通事故が減少し、誰もが安心して外出することができるようになっています。
- 地域、警察、学校関係者などが連携し、防犯意識の高まりにより犯罪が発生しにくい環境が整っています。
- 消防施設の強化や適正な指揮体制の確立など、各種災害への対応能力が高まっています。また、市民による応急手当が普及し、救命効果が高まっています。

1. 防災・減災

- 1 災害に強いまちづくりの推進
- 2 地域防災力の向上

2. 交通安全

- 1 交通安全対策の推進

3. 生活安全

- 1 地域の防犯力の向上
- 2 消費生活支援の推進

4. 消防・救急

- 1 消防体制の強化
- 2 救急体制の高度化



- ・ 下水道施設やため池、河川など様々な排水施設を組み合わせた総合的な治水対策を実施し、想定を超える豪雨による浸水被害を軽減します。
- ・ 防災DXを推進し、新たな情報伝達手段や衛星通信等を導入することで安定的且つ確実な情報の伝達手段を確保します。

2 都市空間



施策が目指す半田市の将来の姿

- 名鉄知多半田駅からJR半田駅を中心とする中心市街地は半田市の顔として、一体的に利用され、魅力と賑わいにあふれています。また、住宅地は便利で快適な暮らしやすいまちが形成されています。
- 歴史・文化が薫る半田らしい景観のまちなみが形成されています。また、公園・緑地は市民に愛着を持って利用され、子どもから高齢者まで誰もが楽しみ、憩い安らげる場になっています。
- 社会情勢の変化に対応した公共交通体系の構築により、市内を円滑に移動できる交通利便性が向上しています。

1. 市街地

- 1 中心市街地の基盤整備
- 2 中心市街地の魅力向上
- 3 良好な住環境の形成

2. 景観・公園

- 1 景観形成の推進
- 2 公園・緑地の魅力向上

3. 移動環境

- 1 公共的な交通手段の利便性向上
- 2 鉄道の利用促進と駅周辺環境の整備



- ・ 知多半田エリア、半田駅前エリア、半田運河エリアのそれぞれの特性を活かしながら、中心市街地の活性化を図るため、公と民が連携した組織づくりを促進します。
- ・ 大規模な都市公園に多くの人が集い、若者や家族が楽しめるよう、民間活力を導入した整備を行います。

3 都市基盤



施策が目指す半田市の将来の姿

- 交通体系や道路空間が整備され、安全で快適な道路交通環境が形成されています。
- 安心・安全な水道水が安定的に供給されています。
- 下水の適正処理により、衛生的で快適な生活環境が保たれています。
- 海上物流を支える港湾施設の充実が図られるとともに、市民にとって親しまれる環境が形成されています。

1. 道路

- 1 道路の整備・円滑化
- 2 道路施設等の適切な改修・管理

2. 水道

- 1 水道事業の経営基盤強化
- 2 水道の安定的な供給

3. 下水道

- 1 下水道事業の経営基盤強化
- 2 下水道による生活環境の向上

4. 港湾

- 1 港湾機能の強化と利用促進
- 2 親しまれる港づくり



- ・ 関係機関と連携し、西三河方面とつなぐ道路の渋滞解消を図ります。
- ・ 衣浦港の海面処分用地を工業用地やふ頭用地等に利用するため、港湾関係者と連携を図りながら早期事業化に向け促進します。

第5章 互いを尊重し知恵と力を活かしあう 豊かさを育むまち



1 協働



施策が目指す半田市の将来の姿

- 多様な市民ニーズや地域課題について、市民と行政が情報を共有し、お互いの立場を尊重しながら一緒に考え、協働で取り組むことにより解決できています。
- 小学校区でのコミュニティ活動や幅広い世代による市民活動が自主的かつ活発に展開されています。

1. 情報共有

- 1 広報の推進
- 2 広聴の推進
- 3 協働の推進

2. コミュニティ活動

- 1 コミュニティの活動支援

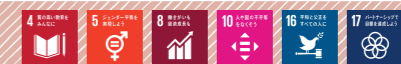
3. 市民活動

- 1 市民活動団体の支援
- 2 中間支援機能の強化



- ・ 若者のアイデアを取り入れる新たな仕組みを構築します。
- ・ 小学校区単位のコミュニティ組織が運営を担う地域の拠点整備を行います。

2 共生社会



施策が目指す半田市の将来の姿

- 国籍、文化、性別などにかかわらず、すべての市民が、多様性を認めあいながら、個性と能力を十分に発揮し、活躍できる社会が形成されています。

1. 多文化共生社会

- 1 多文化共生意識の醸成
- 2 外国籍市民等の暮らしの支援

2. 自分らしく生きられる社会

- 1 性別にとらわれない社会の推進
- 2 ワーク・ライフ・バランスの推進



- ・ 外国籍市民等が地域活動に参加できる仕組みづくりを行います。
- ・ 家事、子育て、介護などをしながら働きたい人が働き続けられる環境づくりを事業者と協働で取り組むことにより、モデル事業所をつくります。

3 行財政



施策が目指す半田市の将来の姿

- 社会情勢の変化に柔軟に対応するとともに、広聴活動の推進を通じ市民ニーズを的確に把握し、質の高い行政サービスが提供されています。
- さまざまな財政指標から見て、健全で持続可能な財政運営が行われています。

1. 行政運営

- 1 行政サービスの向上
- 2 職員・組織の能力向上
- 3 公共施設の維持管理と更新
- 4 広域連携による行政の推進

2. 財政運営

- 1 公平・公正な財政運営
- 2 戦略的な財源の配分



- ・ 市税・使用料・手数料等のキャッシュレス決済を推進します。
- ・ 革新的な技術やアイデアを持つスタートアップ企業等との連携を通じ、行政業務の高度化や市民サービスの質向上に資するサービスを実装します。



— 第7次半田市総合計画をもっと詳しく知りたいときは —

第7次半田市総合計画

検索



令和8年3月
発行 半田市

〒475-8666 愛知県半田市東洋町二丁目1番地 電話 0569-21-3111(代表)

<https://www.city.handa.lg.jp/>